

議会報告・意見交換会報告書

代表者 水戸 保
 記録者 三宅 和広
 班 員 狩野 佳和
 " 武田 正二
 " 古澤 義弘

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和3年11月16日（火） 午後7時 ～ 午後8時35分	
2 会 場	市立天童北部公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	6名（男性 4名、女性 2名）	
5 報告内容	令和3年度の議会活動状況など	
6 意見・要望等	出された意見等	当日の回答
	<p>市民 定数削減については議員自らで決めたのか。 報酬は人口規模、財政規模によるところもありシビアなものであるが、ある程度保障されていないとなり手不足になるということは全国的なことであるが、妥当かどうかの判断は難しい。 最終的には誰が決めるのか。</p>	<p>議員 最終的には、定数については議会で、報酬については特別職報酬審議会で決める。 議員定数・議員報酬検討特別委員会では、定数については2人から3人の削減としている。 定数と報酬は分けて考えたい。 報酬については平成8年に上げてから変わっていない。</p>
	<p>市民 コロナで疲弊している時に報酬を上げるのはタイミングが悪い。 報酬は議員で一律になっているが、会社では個人間で差がついている。その辺から変えないといけない。 昔は青年団とか青年会議所で活発な活動をしている人が手を挙げたが、今</p>	<p>議員 平成8年に上げた。その後、バブルがはじけたり、リーマンショックがあったりして報酬を上げることはなかった。 現在はコロナの影響があり、上げることができるか心配である。</p>

	<p>はなくなった。それは、議員報酬が少ないからなり手がなくなったのではない。市の勢いがなくなったからではないか。そのような状態で報酬を上げると言っても理解を得られないのではないか。なり手不足解消は、議会で議員になりたいという意欲がある人の勉強会を開くとかの取り組みが必要ではないか。</p> <p>東根市は活気がある。昔の天童市と同じだと感じる。活気があると「頑張らなければ」と思う。まず、議員が市民に背中を見せてほしい。</p> <p>報酬については、民間の40代、50代よりかなり高い。市職員は高いが学歴で差をつけている。市民が納得する上げ方をしないと理解されない。コロナで疲弊している時に上げることに市民は納得しないだろう。困っている市民を議員がサポートしていかないといけない。</p>	
	<p>市民</p> <p>定数削減は議員にとっては悩ましいことだろう。</p> <p>報酬は高い訳ではないだろう。落選したらただの人になり収入がなくなる。そこをどうするかを考えないと難しい問題である。天童のために活動するためには経済的な支えが必要である。</p> <p>政治家になるためには特に資格はいらない。当選すれば政治家になれる。哲学的思考が必要ではないか。全体的に考えないと変な方向に行く。定数削減、報酬増という点だけで考えると変な方向に進んでしまう。</p> <p>市民の言いなりになるのではなく、自分の主義を主張してほしい。また、会派を超えた自由闊達な意見交換をしてほしい。全体のことを考えて市民の代表であるという気構えを持ってほしい。</p>	

	<p>何も困っていないから若者は政治に関心がない。自分さえよければという風潮がある。今日の参加者は少ないが、来ない理由を掘り下げていかないといけないのではないか。そうしないと全体のことを考えたことにはならない。</p>	
	<p>市民 議員は定数と報酬についてはっきりした数字を持っているのか。漠然と定数を削る、報酬を上げると言われても妥当かどうか考えられない。 県議と市議の報酬にすごい差がある。そのことを市民に知らせて、報酬を上げて頑張ってもらいたい。議員一丸となって何かをしてほしい。</p>	<p>議員 定数削減は、2人か3人にどちらにするか分かっている。 報酬は、精査が必要。消費税や物価指数などを参考に決めていきたい。</p>
	<p>市民 何度か傍聴したが、一般質問は勉強している人と調べていない人が分かっている。議会中に居眠りしていると思える議員もいた。 一生懸命やっている議員もいれば、地域のために動いてくれないという議員もいる。地域の人を聞いて評価した上で報酬を決められないか。</p>	
	<p>市民 参加者が6人は少ない。</p>	
	<p>市民 天童・東根・村山線の進捗状況はどうなっているか。 山形空港線の進捗状況はどうなっているか。</p>	<p>議員 コロナ禍で書面決議であり、状況進んでいない。 構想はあるが、まだまだ先ではないか。 (調査結果) 天童東根村山線は東根市、村山市および本市の3市で整備促進期成同盟会を組織し、事業の促進に向けた要望活動を行っている。天童東根村山線のうち、天童市が整備を行う市道</p>

		<p>天童東根線（延長約 860m）については、平成 25 年度に着工し、平成 30 年度までに事業用地の取得を完了している。令和元年度からは道路工事を行っている。令和 3 年度現在は、押切川に架かる橋梁の下部工工事を行っている。主要地方道山形天童線（成生工区）の進捗（県事業）については、県に確認したところ、平成 29 年度に着手し、これまで測量や地質調査を行ってきた。令和 3 年度には道路詳細設計や用地測量を行っており、令和 3 年 11 月 24 日に関係者を対象にした説明会を実施したとのことである。</p>
	<p>市民 まち懇は、要望だけになっている。懇談会の体をなしていない。要望はハガキや電話でもできるので、まち懇のやり方を変えた方がいい。膝をつき合わせて話し合う場にしてはどうか。</p>	<p>議員 干布は要望だけにならないように、区長会がまとめている。</p> <p>議員 南部は市長と直接対面できるので参加者が増えているようだ。</p> <p>議員 北部は事前通告が必要で、その場での質問ができない場合があったようだ。</p> <p>議員 個別案件はハガキで出してほしい。南部では通告制にしている。同じ人が同じ質問をして、執行部が動いた事例もある。</p> <p>議員 まち懇は市長と天童の未来を語るような場であった方がいいと思う。議会も市民の方と天童の未来を語るような場を持つ必要があると思う。</p>

	<p>市民</p> <p>全ての要望を聞くわけにはいかない。言わない人、弱者にどう対応するかも大切である。除雪の件で毎日市役所に電話したら対応してくれたそうだ。それではまずいのではないか。全体的な問題として捉えなければならないのではないか。</p>	
	<p>市民</p> <p>18歳にした意義はあるのか。若い人の意見を聞くために下げたはずなのに投票率が上がらないのでは意味がない。天童では議員が頑張って若者の投票率を上げて議員としての実績を見せてほしい。</p>	<p>議員</p> <p>18歳以上は約5割が期日前投票に行っている。</p>
	<p>市民</p> <p>北部地域の投票所は2カ所である。山口地区は4カ所ある。議員がいたところが残ったのではないか。</p>	<p>議員</p> <p>投票所は選挙管理委員会で決めている。投票所を減らす案が提示された時に議会で反対したが、郡部は高齢者のことを考えて残った。今後、大変なところがあったら増やしていかなければならないのだろう。あわせて若い人の投票率を上げる取り組みが必要だと思う。</p> <p>議員</p> <p>53あった投票所を16に減らす提案だったが、議会の反対で27に落ち着いた。市議選挙の投票率は落ちているが、国政選挙はそんなに落ちていない。</p> <p>高校生の投票率は良いが、大学生は住民票を移していないため投票率が悪い。若い人は困っていないから投票に行かない。ネットでの投票など投票のやり方を変えないと投票率は上がらない。</p>

	<p>市民 天童公園まで散歩している。筋肉の衰えを防ぐことは大切。散歩コースやスポセンのトリムコースをPRしてほしい。</p>	
<p>7 所 感</p>	<p>様々のご意見等をいただき有意義な会であった。 議員定数・議員報酬についてもこれまでとは違った角度からのご意見をいただきました。</p>	